

平成26年度「土木の日」記念行事

- <主催> 公益社団法人 土木学会四国支部
- <日時> 平成26年10月10日(金) 10:30~12:00
- <場所> サポートホール高松 61 会議室 (高松市サポート2-1)
- <参加費> 無料
- <定員> 120名



土木学会認定CPDプログラム

●プログラム

10:30	開会挨拶 土木学会 四国支部長 上羽坪 勲 平成26年度 土木学会選奨土木遺産 認定書授賞式 認定遺産：熊井隧道（くまいすいどう）
11:00	特別講演 「宇宙から土砂災害を見張る！ ～リモートセンシング技術の現状と活用～」 講師 宇宙航空研究開発機構 地球観測研究センター研究領域総括 島田 政信
12:00	午前の部閉会 引き続き13:30よりタスクフォース「防災講演会」実施

●特別講演

<p>【プロフィール】</p> <p>島田 政信 宇宙開発研究機構 (JAXA) 地球観測研究センター 研究領域総括</p> <p>1977 京大・工・航空工学科卒 1979 京大院・工・修士修了 旧宇宙開発事業団入社 1999 工学博士取得 (東大) 2014 現在に至る</p> <p>IEEE Fellow 日本リモートセンシング学会理事 東海大学客員教授を兼任</p> <p>専門：マイクロ波リモートセンシング 合成開口レーダ処理 干渉SAR、多変波SAR解析</p>	<p>【講演のあらまし】</p> <p>地球温暖化の影響もあり、近年地球規模で気候が大きく変動している。我が国においても、豪雪や猛暑、ゲリラ豪雨、濁水、竜巻など、これまでに経験したことが無いような気象現象が各地で観測され、我々の生活にも大きく影響してきている。特に8月20日に広島市内で発生した大規模な土砂災害は記憶に新しいところである。</p> <p>このような中、今年5月に打上げられた地球観測衛星「だいち2号」や、高高度から地球表面を観測するリモートセンシングの着実な技術発展により、宇宙からの自然災害監視技術は飛躍的に向上している。</p> <p>本講演では、リモートセンシング技術の現状および今後の発展などについて広く講演し、今後の自然災害対策へつなげていきたい。</p>
--	--

<申込方法>

前日まで 参加申込書は受付けいたします。
当日参加も可能です。

<申込先>

公益社団法人 土木学会四国支部事務局
〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 建設クリエイトビル
TEL : 087-851-3315 / FAX : 087-851-3313
E-mail : office@jsce7.jp

FAX : 087-851-3313

土木学会四国支部事務局 宛

10月10日開催「土木の日」記念行事（特別講演会）参加申込書

勤務先	担当者連絡先
所属	TEL :
住所	FAX :
	E-mail :

	参加者①	参加者②	参加者③	参加者④
氏名				

※ 参加者が4名を超える場合は、コピーして追加してください。

通信欄	
-----	--